

【資料4】

第1次計画の検証（進捗状況）及び課題等

（1）第1次計画で統合・再編が位置付けられ、統合した学校（網掛け表示）

【表1】 小学校統合計画

学校名	計画
1 両尾小学校（後期）	7校を 概ね3校
2 河崎小学校（後期）	
3 両津小学校（後期）	
4 両津吉井小学校（後期）	
5 加茂小学校（前期）	
6 馬首小学校（前期）	
7 浦川小学校（前期）	
8 相川小学校（後期）	3校を 概ね1校
9 七浦小学校（後期）	
10 金泉小学校（後期）	
11 沢根小学校（後期）	4校を 概ね2校
12 河原田小学校（後期）	
13 八幡小学校（後期）	
14 二宮小学校（後期）	
15 金井小学校（前期）	2校を 概ね1校
16 金井吉井小学校（前期）	
17 新穂小学校（後期）	2校を 概ね1校
18 行谷小学校（後期）	
19 畑野小学校（前期）	
20 後山小学校（前期）	3校を 概ね1校
21 小倉小学校（前期）	
22 真野小学校（前期）	2校1分校を 概ね1校
23 西三川小学校（前期）	
24 西三川小学校笹川分校（前期）	
25 小木小学校（前期）	2校を 概ね1校
26 深浦小学校（前期）	
27 羽茂小学校（前期）	3校を 概ね1校
28 大滝小学校（前期）	
29 小村小学校（前期）	
30 川茂小学校（後期）	2校を 概ね1校
31 赤泊小学校（後期）	

現在

学校名	計画（結果）
1 河崎小学校（H29.4.1統合）	7校→4校
2 両津小学校	
3 両津吉井小学校	
4 加茂小学校（馬首小H19.4.1統合、浦川小H25.4.1統合）	
5 相川小学校	3校→3校
6 七浦小学校	
7 金泉小学校	
8 河原田小学校（H30.4.1統合）	4校→3校
9 八幡小学校	
10 二宮小学校	
11 金井小学校（H25.4.1統合）	2校→1校
12 新穂小学校	2校→2校
13 行谷小学校	
14 畑野小学校（H25.4.1統合）	3校→1校
15 真野小学校（H22.4.1統合）	3校→1校
16 小木小学校（H23.4.1統合）	2校→1校
17 羽茂小学校（大滝小・小村小H22.4.1統合、川茂小H25.4.1統合）	4校→1校
18 赤泊小学校	1校→1校

【表2】 中学校統合計画

学校名	計画
1 東中学校（後期）	3校を 概ね1校
2 南中学校（前・後期）	
3 北中学校（前期）	
4 相川中学校	1校を概ね1校
5 佐和田中学校	1校を概ね1校
6 金井中学校（後期）	4校を 概ね2校
7 新穂中学校（後期）	
8 畑野中学校（後期）	
9 真野中学校（後期）	
10 小木中学校（後期）	3校を 概ね1校
11 羽茂中学校（後期）	
12 赤泊中学校（後期）	

現在

学校名	計画（結果）
1 両津中学校（北中H20.4.1統合、東中H25.4.1統合）	3校→1校
2 相川中学校	1校→1校
3 佐和田中学校	1校→1校
4 金井中学校	4校→4校
5 新穂中学校	
6 畑野中学校	
7 真野中学校	
8 南佐渡中学校（H26.4.1統合）	3校→2校
9 赤泊中学校	

【表3】 小中学校連携計画

学校名	計画
1 岩首小学校（前期）	6校を 小中連携校として概ね4校
2 野浦小学校（前期）	
3 片野尾小学校（前期）	
4 内海府小学校（前期）	
5 高千小学校（前期）	
6 松ヶ崎小学校（前期）	
7 前浜中学校（前期）	4校を 小中連携校として概ね4校
8 内海府中学校（前期）	
9 高千中学校（前期）	
10 松ヶ崎中学校（前期）	

現在

学校名	計画（結果）
1 前浜小学校（H19.4.1統合）	6校→ 小中連携4校
2 内海府小学校	
3 高千小学校	
4 松ヶ崎小学校	
5 前浜中学校	4校→ 小中連携4校
6 内海府中学校	
7 高千中学校	
8 松ヶ崎中学校	

(2) 未統合校の状況

地区	学校	第1次計画上未実施となっている理由及び現状
両津	両津吉井小 加茂小	平成25年度に両津吉井小に対し、加茂小との統合についての事前協議をかけたが、平成22年に「両津吉井小学校存続に関する要望書」が学区の総意として提出され、また児童数の推移から平成28年度以降、当面の間、複式学級の解消が見込まれたことから、後期統合期間内に向けての統合協議は見送った。令和3年度に複式学級が発生する見込み。
相川	金泉小 七浦小 相川小	統合協議は平成25年度までに合併特例債を利用した相川小学校改築に伴う相川小・七浦小・金泉小の3校統合計画について協議をしたが、七浦地区、金泉地区ともに統合反対となったため現在に至っている。 その後、相川小学校を全面改築したが、校舎の普通教室の数は3校統合の児童数の見込みに基づくものではなかった。七浦小・金泉小ともに複式学級の状況が続くが、統合には普通教室が不足するという施設的な課題があった。令和3年度以降、各学年1クラス編制となり3校統合が可能となる児童数を見込んでいる。 平成30年度に保護者と地域住民に再説明。令和元年度に小学校統合に関するアンケート調査を実施、調査結果を公表。
佐和田	八幡小 河原田小	八幡小・沢根小・河原田小3校の統合協議において、八幡地区が統合反対となったことから、沢根小、河原田小2校が平成30年度に統合した。令和元・2年度に八幡小は、耐震補強工事を実施する予定である。
新穂	行谷小 新穂小	新穂小は、平成22年度に全面改築したが、改築事業は旧新穂村から佐渡市に引き継がれたものであり、統合を予定した規模の校舎ではない。 後期統合計画を進めるに当たり、児童数の推移から平成29年度以降に一旦、行谷小で複式学級の解消が見込まれたこと、また当時の推計では平成29年度新入学児童数が2校合わせた場合に35人で、普通教室の不足が見込まれたことから、計画期間内の統合は見送った。行谷小学校は、令和2年度以降に複式学級が復活し、続いていく見込み。
国中	金井中 新穂中 畑野中 真野中	計画では4校を2校とするもので、現在、統合の組み合わせ及び統合先の校舎については未定。金井中については統合計画上、統合方針の基本である2クラス編制で単独校として存続する可能性がある学校として位置付けられている。従って統合計画を進める際に使用する校舎は金井中と残り3校のいずれかとなる。 利用可能な普通教室は金井中10室、真野中8室、畑野中・新穂中6室であることから、統合校として存続する学校は、統合後の普通教室及び特別支援教室の確保を十分に考慮した学級数から判断することとなる。
南部	南佐渡中 赤泊中	小木中、羽茂中、赤泊中3校の統合協議において、赤泊地区が統合反対をしたため、小木中、羽茂中2校が平成26年度に新設南佐渡中として統合した。平成24年当時の赤泊、羽茂、小木の3地区で構成していた南部地区中学校統合計画検討委員会において、赤泊中の南佐渡中学への統合協議について、概ね令和4年度以降に再開することとしたことから現在に至っている。 南佐渡中学校は統合年度の26年度が各学年2クラス編制であったが、27年度は2学年、28年度が1学年のみとなり、29年度以降は全学年が1クラスとなった。

(3) 課題等

①	第1次計画で統合・再編が位置付けられた小・中学校のうち8校が、地域課題として継続協議中であるなど、統合には至っていません。その結果、第1次計画の統合方針である、小学校の複式学級の解消や中学校の1学年2学級編成が一部で実現されていません。
②	複式学級校から統合（予定）校への就学を希望される保護者がいた場合、学区外就学の許可条件の拡大や学区の選択制の導入などの検討が必要です。
③	地域に学校を残したいという地元の思いもあります。
④	少人数の中学校では部活動の選択種目が限られ、また団体種目では学校単独では維持できない状況になっています（複数校による合同チームで大会に参加）。
⑤	中学校の小規模化が進み、各教科担任が不足し、非常勤講師や免許外教科担任で対応したり、クラス替えが出来ない学校が増える傾向にあります。
⑥	講師や教育支援員等の人材不足により、十分な人員の配置が出来ていません。